| 学校番号 | 2002B |
|---|---|

# 令和８年度　数学科

| 教科 | 数学 | 科目 | 数学Ａ | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新編 数学Ａ （数研出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 新課程 教科書傍用 3TRIAL 数学Ⅰ+A （数研出版） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学Ａでは、図形の性質・場合の数と確率といった数学と人間の活動の関係について学びます。授業で「分かったこと」「できるようになったこと」を確かめながら、「考えたこと」「工夫したこと」を自分の言葉で振り返り、さらに「疑問に思ったこと」「もっと知りたくなったこと」を大切にして一歩ずつ理解を積み重ねていけるように進めていきますので、気になることはいつでも気軽に相談してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・図形の性質，場合の数と確率についての基礎的な知識や技能を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】
・様々な事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】
・数学を問題の解決に活用する態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 | 図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだして論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，さらに数学と人間の活動との関連をとらえ，事象の背後にある数学の構造を見いだして数理的に考察する力を養う。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 第1章 場合の数と確率 | 第1節 場合の数<br>1 集合の要素の個数<br>2 場合の数<br>3 順列<br>4 組合せ | a:場合の数や順列・組合せに至るまでの考え方や公式を理解している。<br>b: 目的に応じて、適切な方針のもと求め方を考えることができる。<br>c: 場合の数や順列・組合せにおける各項目それぞれの違いや性質に興味・関心をもつ。 | ワークシート<br>テスト<br>提出ノート | ワークシート<br>テスト<br>提出ノート | ワークシート<br>観察<br>提出ノート |
| | | 第2節 確率<br>5 事象と確率<br>6 確率の基本性質<br>7 独立な試行と確立<br>8 条件付確率<br>9 期待値 | a: 確率に関する意味・定義や性質及び、公式を理解している。<br>b: 目的に応じて、適切な方針のもと求め方を考えることができる。<br>c: 確率に関するそれぞれの違いや性質・日常の事象との関わりに興味・関心をもつ。 | | | |
| 後期 | 第2章 図形の性質 | 第1節 平面図形<br>1 三角形の辺の比<br>2 三角形の外心・内心・重心<br>3 チェバの定理・メネラウスの定理<br>4 円に内接する四角形<br>5 円と直線<br>6 2つの円<br>7 作図 | a: 線分や三角形、円など平面図形に関する定義や性質及び、公式を理解している。<br>b: 目的に応じて、適切な方針のもと求め方を考えることができる。<br>c: 線分や三角形、円など平面図形に関するそれぞれの違いや性質に興味・関心をもつ。 | ワークシート<br>テスト<br>提出ノート | ワークシート<br>テスト<br>提出ノート | ワークシート<br>観察<br>提出ノート |
| | | 第2節 空間図形<br>8 直線と平面<br>9 空間図形と多面体 | a:空間における直線や円に関する位置関係や特徴を理解している。<br>b: 目的に応じて、適切な方針のもと求め方を考えることができる。<br>c: 空間における図形の位置関係などについて，積極的に考えてみようとする。 | | | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度